

図書室だより ～注目の新着本を紹介します～

利 用 案 内	
幌延図書室 開館時間…【月～金】 9:30～20:00 【土・日・祝】 9:30～17:00 休館日…12月30日～1月6日 電 話…5-1321	問寒別図書コーナー 開館時間…【月～金】 9:30～22:00 【土・日・祝】 9:30～17:00 休館日…12月30日～1月6日 電 話…6-5006

一般図書



『パリの空の下で、息子とぼくの3000日』
著：辻 仁成

ぼくは父であり、母であった。シングルファザーになったあの日から。これは小学生が大学生になるまでの間の父子の心の旅の記録である。



『いけない do not 2』
著：道尾秀介

大きな話題を読んだ”体験型ミステリー”第2弾。
 ・第一章「明神の滝に祈ってはいけない」
 ・第二章「首なし男を助けてはいけない」
 ・第三章「その映像を調べてはいけない」
 ・書き下ろしの終章「????????はいけない」
 —すべての謎がつながっていく。前作を凌ぐ、驚愕のラストが待つ!



『バナナの魅力を100文字で伝えてください 誰でも身につく36の伝わる法則』
著：柿内尚文

・伝えたいことがなかなか伝わらない
 ・伝えなくちゃいけないとわかっているけど、伝える勇気が出ない
 ・「どうせ伝わらない」とあきらめている
 ・「伝えるのが面倒な人」に振り回されていて、どうにかしたい
 ・もっと多くの人に自分の考え・気持ちを伝えたい
 そんな人たちに読んでもらいたい本です。



『100年足腰死ぬまで歩けるからだの使い方』
著：巽 一郎

健康に長生きしたい。死ぬまで自分の足で、杖をつかずに歩きたい。本書は、そんなあなたの味方となって、背中を押してくれること請け合いです。

YA(中学生以上の方におすすめ)



『すずめの戸締り』
著：新海 誠

ある日の登校中、美しい青年とすれ違った鈴芽は、「扉を探してるんだ」という彼を追って、山中の廃墟へと辿りつく。しかしそこにあったのは、崩壊から取り残されたように、ぼつんとたたずむ古ぼけた白い扉だけ。不思議な扉に導かれ、すずめの“戸締まりの旅”がはじまる。



『おいしくて泣くとき』
著：森沢明夫

無料で「こども飯」を提供する『大衆食堂かざま』。店のオーナーの息子・心也は、時々こども飯を食べにくる同級生のことを気にしていた。友情と恋心、夏の逃避行。大人たちの深い想い。〈子ども食堂〉から始まる思いやりの連鎖が、温かな奇跡を呼ぶ。



絵本・児童書



『ほんとうはびっくりな植物図鑑 ありふれた草花の秘密が面白い!』
著：石井英男

なにがどうしてそうなった!?
 ・「やっとな水をもらえたトマトは超音波で大喜びする」
 ・「音楽を聞いたブドウはおいしくなる」
 など、「よく知っている」ような気がしている身近な植物にも、びっくりする秘密があります。そんな植物の「え? 知らなかった!」というふしぎをイラストで紹介します!



『おすしがふくをかいにきた』
著：田中達也

マグロのおすしがお店に買い物にやってきた! タマゴ、エビとたくさんあるすしネタから、何に変身するのかな? アイスクリームにホットドッグ、ケーキや肉まんが、とってもしリアルな仮想の街で愉快なお買い物を楽しみます。すみずみまで楽しい写真絵本。



『パンしろくま』
著：柴田ケイコ

子どもから大人まで大人気の「しろくま」シリーズ第8弾! ぼくは、パンをたべるのがだいすき。いろいろなパンをもっともったべたいな! あるあさ、ぼくはおもったんだ。「だいすきなパンのなかにはいつてみたら、どんなかんじかな?」そうぞうしただけで、よだれがでちゃう。読み聞かせにもぴったり! 想像力をかきたてるユーモア絵本!



『にっこりに〜』
著：にへいたもつ

100人の保育士さん推薦。親子で「笑い合う」習慣ができる絵本! 「おかおと おかお にっこりに〜」と、パンダちゃん、こいぬちゃん、ぞうちゃん、人間の赤ちゃんに、ママパパが笑いかけ、笑い合います。「おかおと おかお にっこりに〜」と、笑顔になれる魔法の言葉で、親子で笑い合える絵本!